

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	北海道西濃	関東西濃	東海西濃	濃飛西濃	三重西濃	日ノ丸西濃	四国西濃	九州西濃
現状 (状況及び、課題)	【EDI化率について】 ・大手顧客のシステム改修には時間と費用負担が大きい	【EDI化率について】 ・荷主様側送り状作成システムとの連携に時間を要している ・少額荷主様にKMⅡを導入するが未稼働となる	【EDI化率について】 ・目標95%に対して10店所中8店所が達成 ・専用原票を利用の大手荷主がEDI化出来ていない	【EDI化率について】 ・21店所中5店所達成 ・少額荷主(50枚以下)への取組みが進んでいない	【EDI化率について】 ・4Qマイル94%(▲0.7%) ・四日市支店が未達成 ・100枚/月以上の荷主のEDI化が進んでいない	【EDI化率について】 ・全社目標90%達成 ・11店所中7店所達成 ・鳥取、倉吉、出雲、浜田が未達成 ・トールエクスプレスはデータ配信漏れや業務とのタイムラグから発生したN原潰しの手間が見られる	【EDI化率について】 ・14店所中90%未満が2店所(高知・松山) ・98%の目標達成店が1店所(三島)	【EDI化率について】 ・マイルストーン100%実績:88.1%(前月より+0.4%) ・EDI化に大きく影響する荷主(200枚以上)のEDI化が足りていない ・課題:荷主のシステムを考慮したEDIの提案ができていない
新たな取組み (課題解決策)	・札幌圏のEDI化率向上を目指し、担当者がお客様への渉外に専念出来る様、初期設定等のサポートやお困り事を解決する 「バックアップメンバー」5名を選任して、効率よく獲得出来るよう推進する ・本社推進担当者と帯同でターゲット荷主へ交渉する	・本社側インサイトセールス部隊からKMⅡの使用について聞き取りを実施し、興味があるお客様に対し、プランナーと連携し導入を進める ・SDに導入拡販を展開するため、先ず、KMⅡ導入レシピを作成し、チーフマネージャーにKMⅡ導入勉強会を実施 ・統一原票以外のお客様に対し送り状の変更を依頼し、AI-OCRを活用する	・AI-OCR抜きのEDI化率を店所別に算出、共有してKMⅡ率引き上げに取り組む ・全店所を96%以上に引き上げるため、244社のターゲットを設定し短期で底上げを図る	・EDI推進メンバー、営業アシスタントによる少額(50枚以下)荷主の取り込み ・フルデジタルの進化 ⇒新規獲得時の6点セット(KMⅡ、Web請求書、口座振替、19年運賃、売掛保証PLUS、運送保険)	・月間枚数(非EDI荷主) 500枚以上 2件 300枚以上 0件 100枚以上 10件 合計12件 前月差▲8件(稼働日換算なし) ・今年度はAI-OCR込みでの目標設定であるが来年度以降はAI-OCRを抜きのEDI化率で目標を設定し、今年度から活動を実施	【EDIについて】 ・同業他社配達受託業務の効率化として他社No.での輸送トランス実現に向けた対応を推進 (久留米運送は12月より、トールエクスプレスは1月25日より運用を変更) 【IT推進】 ・Googleフォームを活用したお客様のお困り事や要望などの情報を効率よく収集する ・ルマカの配信により当社サービスのPR	・AI-OCRの撮影成功率の定着に向け、乗務員荷主別、対象原票毎の実績を店所へ配布し未撮影乗務員、撮影成功率の低い乗務員への指導を実施。 (撮影成功率79.7%) 前月差+0.4% ・EDI化にあたり輸送情報交換の導入必要荷主については、電算課課長にて交渉の同席を行いバックアップを行う	・大量出荷荷主向け強化店(4店所)の店所長と情シス部長のペアで荷主渉外を行い、荷主のシステムを考慮した提案を行う(頻度週1回) ・少量荷主向け店所を問わずプランナーと情シス担当者のペアで荷主訪問を実施する(週2回) ・SDからのチラシ配布SDからチラシ配布し、KMⅡの認知度を上げる
効果・実績について	・EDI化率:90.5% ・KMⅡ2月度16件導入、年間累計304件導入	・EDI化率:91.7% ・2月度目標マイル93.0% ・2月度目標マイル達成店所19店所中8店所	・EDI化率:95.4% ・前年差+9.7% ・ターゲット進捗68社/244社	・EDI化率:94.0%	・EDI化率:93.3% ・AI-OCR抜きのEDI化率88.8%	【EDI】 ・EDI化率90.3% ・他社受託でバーコード費用の削減、貼り付け作業時間の削減が図れている 【IT推進】 ・ルマカをきっかけに引越見積依頼あり	・EDI化率:93.6% ・目標に対し、▲4.3% 前月差▲0.1% ・AI-OCR寄与率10.0% 前月差+0.4%	・大量出荷荷主向け訪問先:11社 成果:7社より同意 ・SDからのチラシ配布合計で285セットを配布
ポイント	・AI-OCRによる、みなし率の向上と共にみなし荷主に対して、KMⅡ切り替えを推進	・AI-OCR化の推進及び撮影精度向上に向け改善を図る	・KMⅡの事前登録を完了させてお客様へ訪問、PCの設定と操作方法をご説明することで、直ぐご利用いただけるよう進める。 併せて、勉強会を通して店所担当者のスキルアップを図る		・AI-OCRによる向上及びみなしEDI荷主に対して、KMⅡ切り替えを推進	【EDI】 ・他の同業他社にて、今期他社受託運用を先行実施していた為、スムーズな導入が実現出来た 【IT推進】 ・効率よく情報の発信及び集約が可能	・引き続きAI-OCRの撮影成功率の定着化を図る為、乗務員、荷主対象原票毎の実績配信、指導を継続 ・撮影率100%未満乗務員の対象原票種類の確認(統一原票100%撮影への指導)	・九州西濃の40%の出荷枚数を持つ4店所(福岡、福岡西、筑豊、鳥栖)を強化店に設定し、その中でも出荷量の多い荷主をターゲットにペア渉外を行うことで、効率とスピードのアップを図る